

ラニチジン と ラフチジンの 製品名類似の取り違い注意のご案内

平成25年3月

製造販売元  日医工株式会社
富山市総曲輪1丁目6番21

拝啓

ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、弊社の製品名「ラニタック®」で販売しておりましたラニチジン塩酸塩製剤の製品名を2012年12月より、「ラニチジン」(一般名：ラニチジン塩酸塩、薬効分類名：H₂受容体拮抗剤)に変更致しました。

この変更に伴い「ラフチジン」(一般名：ラフチジン、薬効分類名：H₂受容体拮抗剤)と製品名が類似してしまい、また、同じ薬効分類の製剤ということから、「ラニチジン」と「ラフチジン」は取り違いの危険性が高いと考えられます。他社の一般名製品につきましても、同様の取り違いの危険性が考えられます。

これらのことから、「ラニチジン」と「ラフチジン」を処方または調剤いただく際には、今一度販売名および用法用量、併用注意薬剤をご確認いただきますようお願い申し上げます。また、薬剤オーダーリングシステム等をご使用の場合には、「ラニチジン」あるいは「ラフチジン」を入力するとアラートを表示させるなどの予防策をご検討いただき、取り違い防止にいつそうのご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

現在のところ、取り違いに関する事例の発生は確認されておりませんが、取り違えた場合には以下のトラブルが予想されます。

- ・ 過量投与により、副作用が発現する。
- ・ 少量投与のために期待した薬効が得られない。
- ・ 併用注意に該当する薬剤が違うことから、予期せぬ相互作用が発生する。


**ラニチジン錠は、ザンタック®錠のジェネリック医薬品、
ラフチジン錠は、プロテカジン®錠のジェネリック医薬品です。**


お問い合わせ先

日医工株式会社 お客様サポートセンター

TEL : 0120-517-215

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00(祝・祭日を除く)

製品名	ラニチジン錠75mg「日医工」、ラニチジン錠150mg「日医工」
承認を受けた 一日投与量※ (用法用量より)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、急性胃粘膜病変による)の場合：300mg投与。 ■ 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善の場合：150mg投与。 ■ 麻酔前投薬の場合：1回150mgを手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回投与。
併用注意薬剤	クマリン系抗凝血剤(ワルファリンカリウム)、トリアゾラム、アタザナビル、デラビルジン、ゲフィチニブ
PTPシート	 <p style="text-align: center;">ラニチジン錠75mg「日医工」 ラニチジン錠150mg「日医工」</p>

製品名	ラフチジン錠5mg「日医工」、ラフチジン錠10mg「日医工」
承認を受けた 一日投与量※ (用法用量より)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎の場合：20mg投与。 ■ 急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変(びらん、出血、発赤、浮腫)の改善の場合：10mg投与。 ■ 麻酔前投薬の場合：1回10mgを手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回投与。
併用注意薬剤	該当記載事項なし
PTPシート	 <p style="text-align: center;">ラフチジン錠5mg「日医工」 ラフチジン錠10mg「日医工」</p>

※投与量は違いますが、一回に投与する錠剤数が一致しているため、取り違えが起これると発見が困難です。

例：胃潰瘍の場合、ラニチジン錠150mg「日医工」 1回 1錠 1日2回(朝食後、就寝前)
ラフチジン錠10mg「日医工」 1回 1錠 1日2回(朝食後、就寝前)